

**PRIMERGY****LANパススルーブレード (10Gbps 18/18)  
Connection Blade Ethernet Pass Thru 10Gb 18/18**

# 取扱説明書

---

**本書をお読みにする前に**

安全にお使いいただくための注意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

---

**第1章 製品の概要**

この章では、モジュール構造と機能概要について説明しています。

---

**第2章 本製品への接続**

この章では、本製品への接続方法について説明しています。

---

**第3章 CLIリファレンス**

この章では、本製品の管理を行うCLIコマンドについて説明しています。

---

**付録**

ここでは、本製品の補足情報について説明しています。

# 本書をお読みになる前に

## 安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。  
また本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

## 電波障害対策について

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

## アルミ電解コンデンサについて

本製品のプリント板ユニットやマウス、キーボードに使用しているアルミ電解コンデンサは寿命部品であり、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因になる場合があります。  
目安として、通常のオフィス環境 (25 °C) で使用された場合には、保守サポート期間内 (5 年) には寿命に至らないものと想定していますが、高温環境下での稼働等、お客様のご使用環境によっては、より短期間で寿命に至る場合があります。寿命を超えた部品について、交換が可能な場合は、有償にて対応させていただきます。なお、上記はあくまで目安であり、保守サポート期間内に故障しないことをお約束するものではありません。

## ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療器具、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途 (以下「ハイセイフティ用途」という) に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

## 外国為替及び外国貿易法に基づく特定技術について

当社のドキュメントには「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

## 本書の内容について

このたびは、弊社のPRIMERGY LANパススルーブレード(10Gbps 18/18)/Connection Blade Ethernet Pass Thru 10Gb 18/18をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、PRIMERGYシャーシのコネクションブレードスロットに搭載し、LAN(Local Area Network)システムの構築、また、統合ネットワーク環境システムにも使用できます。

本製品に適応するシャーシ、サーバブレードについては、「PRIMERGY」ページの「システム構成図」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/system.html>)からブレードサーバのシステム構成図をご覧ください。

本書は、PRIMERGY LANパススルーブレード(10Gbps 18/18)/Connection Blade Ethernet Pass Thru10Gb 18/18の組み込み管理ソフトウェアの使用方法について説明します。また、本製品とマネジメントブレード(MMB)の接続方法、およびモジュール、デバイス、ファームウェア/ソフトウェアの更新方法について説明します。

ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。



## 本書の対象読者

本書は、本製品の設置と構成を行う担当者を対象としています。イーサネットとLANの概念および用語を十分理解していることが前提です。




## 本書の表記

### ■ 警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。



 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

## ■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 <b>重要</b>	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。

## ■ 他のマニュアルの表記

本文中では、本書以外のマニュアルを『(マニュアル名称)』と表記しています。

## ■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例: 【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例: 【Ctrl】 + 【F3】キー、【Shift】 + 【↑】キーなど

## ■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を「→」でつないで表記しています。

例: 「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン → 「すべてのプログラム」 → 「アクセサリ」の順にクリックします。

## ■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、本書に表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

## ■ 製品の呼び方

本文中の製品名称などを、次のように略して表記します。

製品名称など	本文中の表記
PRIMERGY LANパススルーブレード(10Gbps 18/18) Connection Blade Ethernet Pass Thru 10Gb 18/18	本製品、または LANパススルーブレード

## 安全上のご注意

---

### 警告

感電



- 機器を勝手に分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。火災・感電の原因となります。



- 近くで雷が発生した時は、シャーシの電源コードや本製品の外部接続コードを抜いてください。そのまま使用すると、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

### 注意



- 本製品は、静電気の影響を受けやすいので、取り扱いには十分注意してください。本製品を扱う前に、シャーシの金属部分に触れるなどして体内の静電気を放電してください。
- 本製品を扱うときは、基板表面や半田付けの部分に触れないようにしてください。梱包袋から取り出した本製品は、伝導パッドなどの上に置いてください。



- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本製品を梱包袋から取り出した状態で保管しないでください。また、本製品を保管する場合には、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、暖房機器などの熱の当たる場所を避けてください。

## 梱包物の確認

---

お使いになる前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。

万一足りないものがございましたら、担当営業員にご連絡ください。

- ・ PRIMERGY LANパススルーブレード(10Gbps 18/18)/Connection Blade Ethernet Pass Thru 10Gb 18/18 (本製品1台)
- ・ 保証書 (1部)
- ・ 『PRIMERGY ブレードサーバ用ネットワークオプション製品の取り扱いについて』 (1部)

# 目次

第 1 章 製品の概要.....	7
1.1 ポートの接続について.....	8
1.2 ポートリンク状態の反映.....	9
1.3 LED 表示 .....	10
第 2 章 本製品への接続.....	11
2.1 CONNECTION BLADE CLI への接続 .....	12
第 3 章 CLI リファレンス.....	14
3.1 クイックリファレンス.....	15
3.1.1 CLI コマンドリファレンスの表記について.....	15
3.2 CLI コマンドリファレンス.....	16
3.2.1 <i>show image ver</i> コマンド .....	16
3.2.2 <i>copy image from file</i> コマンド.....	16
3.2.3 <i>reload</i> コマンド.....	17
付録.....	18
A.1 .pfw ファイルを使用したファームウェア更新の手順.....	19

# 第1章 製品の概要

この章では、モジュール構造と機能概要について説明しています。

# 1.1 ポートの接続について

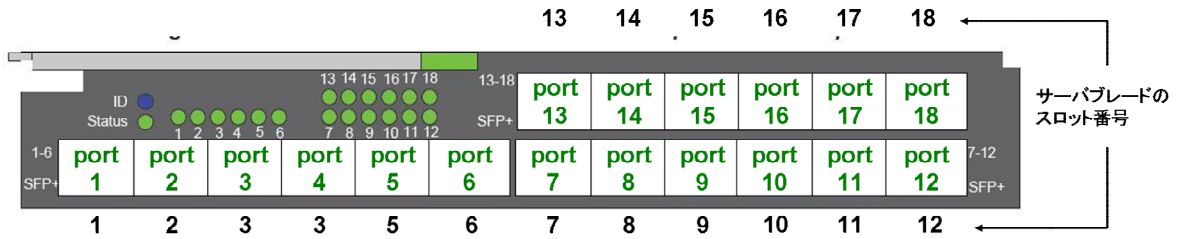
本製品の接続について説明します。

本製品はサーバブレードと最大18ポート接続します。

本製品はスイッチングを行わず、サーバブレードのポートとSFP+モジュールスロットとを直接接続します。

したがって、サーバブレードのスロット番号に対応した、SFP+モジュールスロットを使用する必要があります。

BX900 S1シャーシにおいて、ポートの番号と各サーバブレードとの接続関係は以下のようになっています。





## 1.2 ポートリンク状態の反映

---

本製品は、アップリンクからダウンリンクのリンク状態をそのまま反映させます。つまり、アップリンクポートがリモートの接続先 (e. g. イーサネットスイッチなど) から切断されたとき、対応するサーバブレードはリンクダウンします。アップリンクポートが接続されたとき、対応するサーバブレードはリンクアップします

# 1.3 LED表示

本製品には、システムや外部ポートのリンク状態表示のためのLEDが装備されています。

これらのLEDにより、インストールとネットワークに関するトラブルの対応が簡単になります。



## 1 システム識別灯 (ID) / 状態表示ランプ (Status)

名称	LEDの状態	説明
システム識別灯 (ID)	点灯 (青)	マネジメントブレードによりシステム識別LEDがアクティブになった
状態表示ランプ (Status)	点灯 (緑)	本製品に電源が供給されている
	点滅 (オレンジ)	本製品故障
	消灯	本製品に電源が供給されていない

## 2 外部ポート状態表示用LED

ポートの状態	LEDの状態	説明
リンクダウン	消灯	以下の状態を示しています。 <ul style="list-style-type: none"><li>サーバブレードが存在しない、パワーオフ、またはリンクがActiveでない。</li><li>アップリンクポートのモジュールが存在しない。</li><li>アップリンクポートのケーブルが接続されていない。</li><li>1つ、もしくは両方の内部/外部リンクがダウン。</li></ul>
リンクアップ	点灯 (緑)	内部/外部リンクのどちらもリンクが確立している状態。
データ転送中	点滅 (緑)	リンクが確立しており、データパケットを転送または受信しています。
速度設定エラー	点滅 (オレンジ)	リンクスピード設定に整合性がない。

## 第2章 本製品への接続

この章では、本製品への接続方法について説明しています。

## 2.1 Connection Blade CLIへの接続

本製品のCLIへの接続について説明します。

本製品のCLIへ接続するには、ターミナルソフトウェアが必要となります。接続する際はSSHプロトコルを使用してください。telnetプロトコルを使用した場合、ファームウェアの更新を行うことができません。

1. ターミナルソフトウェアを使用して、マネジメントブレードのコンソールモードに接続します。  
マネジメントブレードへの接続に関しては、マネジメントブレードのマニュアルをご覧ください。
2. 次のような「Console Menu」画面が表示されます。

```
+-----+
|                               Console Menu                               page_root
+-----+
(1) Management Agent
(2) Emergency Management Port
(3) Console Redirection
(4) TFTP update
(5) Logout
(6) Change Management Role To Slave
(7) System Information Dump
(8) Command Line Interface
(9) Account Management
Enter selection: █
```

3. 「(3) Console Redirection」を選択し、【Enter】キーを押します。  
「Console Redirection Table」画面が表示されます。
4. 「(1) Console Redirect Connection Blade」を選択し、【Enter】キーを押します。

```
+-----+
|                               Console Redirection Table                               page_3
+-----+
(1) Console Redirect Connection Blade
(2) Set Return Hotkey , Ctrl+(a character) : Q
(3) Set Console Redirection Timeout      : 900
Enter selection or type (0) to quit: █
```

5. 設定したいスロット番号を入力し、【Enter】キーを押します。

例:本製品がCB1に搭載されている場合は、「1」を入力して、【Enter】キーを押してください。

```
+-----+
|           Console Redirect Connection Blade           page_3_1
+-----+
(1) CB1:PY CB Eth Pass Thru 10Gb 18/18 - Stacking:N/A
(2) CB2:PY CB Eth Pass Thru 10Gb 18/18 - Stacking:N/A
(3) CB3:PY CB Eth Switch/IBP 10Gb 18/8(Mode:Switch) - Stacking:N/A
(4) CB4:PY CB Eth Switch/IBP 10Gb 18/8 - Stacking:N/A
(5) CB5:PY CB Eth Switch/IBP 10Gb 18/8(Mode:Switch) - Stacking:N/A
(6) CB6:PY CB Eth Switch/IBP 10Gb 18/8(Mode:Switch) - Stacking:N/A
Enter selection or type (0) to quit: █
```

6. 下記のメッセージが表示されます。【Enter】キー押し、ログインプロンプトを表示させてください。

```
Press <Ctrl+Q> Return Console Menu
Login: █
```

7. ユーザ名とパスワードを入力します。

初期値は以下の通りです。

login: user  
password: user

```
Press <Ctrl+Q> Return Console Menu
Login: user
Password: ****█
```

8. プロンプト「#」が表示されます。

以上でCLIへの接続が完了しました。これでCLIコマンドを使用することができます。CLIコマンドについては「第3章 CLIリファレンス」をご覧ください。

 **POINT**

- ▶ CLIを切断し、Console Menuに戻る場合は、【Ctrl】+【Q】キーを押してください。

## 第3章 CLIリファレンス

この章では、本製品の管理を行うCLIコマンドについて説明しています。

## 3.1 クイックリファレンス

---

CLIでは以下のコマンドが使用できます。

コマンド名	コマンド内容	参照先
show image ver	ソフトウェア・イメージ版数の表示	「3.2.1 show image ver コマンド」
copy image from-file	新しいソフトウェア・イメージへの更新	「3.2.2 copy image from-file コマンド」
reload	CPU ハードウェア リセット	「3.2.3 reload コマンド」

各コマンドの詳細について説明します。

### 3.1.1 CLIコマンドリファレンスの表記について

---

それぞれのコマンドにおいて、以下の情報が記述されています。

- ・書式

コマンドの書式(コマンド名とパラメーター)を記載しています。

変数/パラメーターは斜体文字で表記されています。

省略可能なパラメーターは角括弧([])で囲んでいます。必須パラメーターは括弧なしで表記されています。

例: [optional\_parameter]

- ・実行例

使用例とコマンドの出力例です。

## 3.2 CLIコマンドリファレンス

---

### 3.2.1 show image verコマンド

---

現在のソフトウェア・イメージ版数を表示します。

- **書式**

```
# show image ver
```

- **実行例**

```
# show image ver
Software image short version: V1.00
Software image build: 2.0.146-20110111809-417
```

### 3.2.2 copy image from fileコマンド

---

ソフトウェア・イメージ・ファームウェアを更新します。

このコマンドを実行後、すぐにユーザーがZModemプロトコルを使用して、ファームウェア・イメージを送信するのを待ちます。

この操作を中断する場合、【Ctrl】+【X】キーを5回押してください。詳細なファームウェア更新手順については、「付録A ファームウェア更新手順」をご覧ください。

- **書式**

```
# copy image from-file
```

- **実行例**

```
# copy image from-file

This will take a few minutes ...

Waiting for sender to initiate transfer ... (Press Ctrl-X 5 times abort)
**B01000801614c46
```



### 3.2.3 reloadコマンド

---

CPU Hardware Resetを行います。実行後ブートが開始されるので、再度ログインする場合はLoginプロンプトが出るまでお待ちください。また、「Press any key to enter boot loader... X」のXが0になるまで、キーは何も押さないでください。

- 書式

```
# reload
```

- 実行例

```
# reload  
Press any key to enter boot loader... 0  
Loading management application...
```

## 付録

ここでは、本製品の補足情報について説明しています。

# A ファームウェアの更新手順

.pfwファイルを使用したファームウェアの更新手順について説明します。

ファームウェアの更新は、Zmodemプロトコルをサポートしているターミナルソフトウェア(ハイパーターミナルなど)を使用し、SSHプロトコルを使用してマネジメントブレードに接続する必要があります。

## A.1 .pfwファイルを使用したファームウェア更新の手順

本製品のファームウェアを.pfwファイルを使用して更新する方法を説明します。

1. 「2.1 Connection Blade CLIへの接続」の手順で、ターミナルソフトウェアを使用して本製品にCLI接続してください。
2. 更新処理をスタートさせるために、以下のコマンドを実行してください。

```
# copy image from-file
```

システムはターミナルソフトウェアから.pfwファイルが転送されるのを待つ状態になります。

3. Zmodemを使用して、ファイル転送を開始します。.pfwファイルへのパスを選択し、送信を行います。ファイル転送の方法については、接続に使用しているターミナルソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

### POINT

- ▶ 更新処理は数分かかります。
4. この処理が終了すると、以下のメッセージが表示されます。

```
Received update image successfully.  
Changes will take effect after next reboot.  
#
```
  5. CLIからマネジメントブレードのCLIへと抜け出すため、【Ctrl】+【Q】キーを押します。
  6. ファームウェアを有効にするため、本製品を再起動します。
  7. 20秒ほど待つ、「2.1 Connection Blade CLIへの接続」の手順でCLIに再接続します。更新処理が開始され、ソフトウェア更新の進捗状況が表示されます。
  8. ファームウェア更新処理が成功すると、次のようなメッセージが表示されます。

```
SW updated successfully!  
  
Loading management application ...  
.....  
FW updated successfully!
```

---

PRIMERGY  
LANパススルーブレード  
Connection Blade Ethernet Pass Thru 10Gb 18/18  
取扱説明書  
CA92276-8987-01

発行日 2011年02月

発行責任 富士通株式会社

---

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。